

※今月のみ受注の書目です。

中国史

満州の農村社会

流動する労働力と農家経営 (2025 年 2 月中旬刊行予定)

菅野智博 (慶應義塾大学経済学部准教授) [著]

A5 判上製 / 280 頁 税込予価 5,940 円 ISBN978-4-7664-3010-3 C3022

👉 ココに注目!

- ・満州農村社会の実態を、労働者と経営の側面から解明する研究書。
- ・近代から土地改革完成期における、満洲地域の特徴を明らかにする。
- ・フィールドワークと貴重な資料を用いて満洲の農業の変遷を解明する。

植民地史研究と中国現代史研究のアプローチによって、農業労働力の移動を中心にミクロな分析を行い、19 世紀末から中国共産党の土地改革時期までの満州農村の社会像と農村経済の歴史を浮き彫りにする。

対象 (植民地史を専攻する) 研究者

類書 安富歩・深尾葉子『「満州」の成立——森林の消尽と近代空間の形成』
(名古屋大学出版会)

【営業部からのおすすめポイント】

近代以降、急速に進展した満州の開発・開墾と、それを支えた様々な要因をミクロに分析した研究書です。特に、その発展に寄与した賃金農業労働者たちの動きから、農地経営のあり方を捉えたのが本書の特徴。地域間、時期の比較などを通して、多角的な視点から差異を浮かび上がらせ、満州農村社会の実態を解明します。(吉川)

👉 目次、注文書、関連既刊は裏面に掲載! ぜひご確認ください!

【目次】

序章 農村から満洲を問う意味

- 1 満洲農村の軌跡——歴史的背景
 - 2 日本における満洲研究の展開
 - 3 満洲農村をめぐる論点——先行研究の整理と課題
 - 4 研究手法と史料
 - 5 本書の構成
- 注

第1章 近代日本における満洲農村調査

- はじめに
- 1 満洲国成立以前の調査
 - 2 産調による農村実態調査
 - 3 農村実態調査の意義と批判
- おわりに
- 注

第2章 村落の形成と雇農

- はじめに
- 1 村落形成と農業形態
 - 2 雇農の労働形態
 - 3 労働条件
 - 4 年工の雇用と社会関係
- おわりに
- 注

第3章 雇農の移動からみる社会関係

- はじめに
- 1 雇農農家の移動
 - 2 移動の動機と経路
 - 3 大経営農家と雇農の関係——綏化県蔡家窩堡の事例
- おわりに

第4章 農業労働力の雇用と労働市場

- はじめに
- 1 南満洲における工夫市の形態分析
 - 2 工夫市の利用者と雇用方法
 - 3 工夫市と地域社会——盤山県を事例に
- おわりに
- 注

第5章 農業外就業と農家経営

——南満洲の遼陽県前三塊石屯を事例に

- はじめに
- 1 農業外就業の展開
 - 2 南満洲における農業経営と労働力
 - 3 農業外就業の多様化と農家経営
- おわりに
- 注

第6章 分家からみる農家経営の変容

——北満洲の蒼氏一族を事例に

- はじめに
- 1 北満洲における農家経営形態
 - 2 蒼氏の分家
 - 3 分家に伴う農家経営の変容
- 大経営の拡大と中小経営の零細化
- おわりに

第7章 東北地方における土地改革の展開と諸問題

- はじめに
- 1 東北地方における国共内戦
 - 2 土地改革の展開
 - 3 土地改革に伴う農業生産の諸問題
 - 4 互助組織と農業経営
- おわりに
- 参照資料

補論 1945年以降の農村社会

——土地改革と互助組

- はじめに
- 1 土地改革の展開
 - 2 土地改革に伴う農業生産の諸問題
 - 3 互助組と農業生産
- おわりに
- 注

終章 労働力と農家経営からみる満洲農村社会

- 1 本書の内容
 - 2 本書の成果と位置づけ
- 注
- 文献一覧
- 索引



ご注文は FAX で！ 03－3451－3124



新刊委託	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
			菅野智博著 満洲の農村社会 —流動する労働力と農家経営 ISBN978-4-7664-3010-3 C3022	5,940 円	★★

★1つで「500部」を表します

関連既刊（ぜひ併せてご注文ください！）

返品条件付注文品	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	定価(税込)
			小嶋華津子・磯部靖 編著 慶應義塾大学東アジア研究所叢書 中国共産党の統治と基層幹部 ISBN978-4-7664-2877-3 C3331	5,720 円